

10月4日(日)

せいしよ
聖書

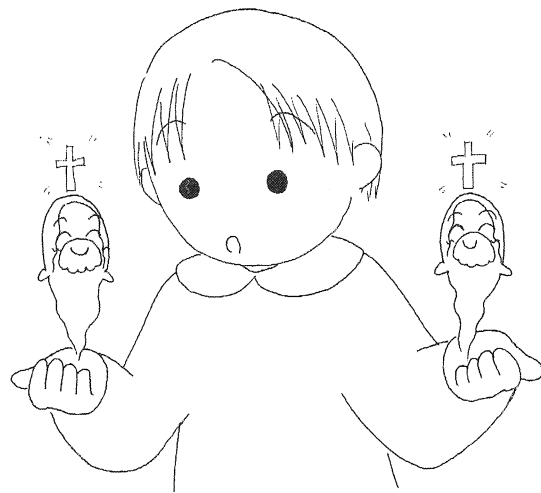
れつおう げ
列王下 2・9～18

せいこく
聖句

どうぞ、あなたの霊の二つの分をわたしに継がせてください。 9節

「あなたはむずかしい事を求める」とエリヤ先生はエリシャに言いました。大胆な祈り、求めだつたのです。昔一番上の子が他の子より二倍の財産をもらつたように、「わたしにあなたの内にある聖霊を与えて、一番弟子に、一番のあとつぎにしてください」と求めたのです。その力がなくてはとも偶像や罪と悪の力に勝てないのを知つていたからです。「わたしがあなたから離れるのを見るならさうなる」とエリヤ先生から言われて、じつと見て、さうなつたのでした。

いのちの祈り
天のお父様、罪と偶像に満ちた今の日本の国です。聖霊を求めます。与えられて、力ある生き方をさせてください。



せいしよ
聖書

れつおう げ
列王下 2・9～18

タイトル

エリシャ

あんしよせいこく
暗唱聖句

どうぞ、あなたの霊の二つの分をわたしに継がせてください。

れつおう げ
列王下 2・9

もく
目 標

偶像に打ち勝つ聖霊の力を求めよう。

10月6日(火)

せいしよ
聖書

れつおうじょう
列王上 18・20～29

せいこく
聖句

そして火をもって答える神を神としましょう。 24節

カルメル山に集合！どのようにしてまことの神様であるかが証明されるでしょう？エリヤは民に言いました。「私はただ一人主の預言者だ。バアルの預言者は450人いる。それぞれにたきぎの上に裂いた牛をのせ、火をつけなさい。おこころの神様の名を呼んで、火をもって答える神様を神様としよう。」「それがよからう」と民の返事。バアルの預言者は朝から晩まで呼んでもバアルは答えません。エリヤはあざけります。血を流してもついに答えがなかったのです。

いのちの祈り
天のお父様、バアルは死んだ偶像だとよくわかりました。あなた以外は皆どんなに拝まれても死んだ偶像です。

10月5日(月)

せいしよ
聖書

れつおうじょう
列王上 18・17～19

せいこく
聖句

あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです。あなたがたが主の命令を捨て、バアルに従つたためです。 18節

「イスラエルを悩ます者よ」とアハブ王に言われて、エリヤは言い返しました。「あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです」と。そうです、悪王アハブと、悪妻イゼベルでした！主の命令を捨てて、またイスラエルの民にもさうさせて、偶像バアルやアシラを拝ませたのですから。そしてエリヤは偶像の預言者たち850人とカルメル山で対決だと宣言しました。今も、人や国家を大いに悩ましているのは、まことの神様以外の偶像やその信者たちです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたの教えを捨てて、あなた以外のものを拝むことは人や国を悩ませる悪だと悟らせてください。

10月8日(木)

せいしよ
聖書

れつおう げ
列王下 2・1～5

せいしよ
聖句

主は生きておられます。またあなたも生きておられます。わたしはあなたを離れません。 4節

エリヤとエリシャがギルガルを出てベテルに行こうとすると、エリヤはエリシャに「どどまってください」と言います。しかしエリシャは離れようとしません。預言者の友人たちが「あなたの主人を主がきょう取られるのを知っていますか」と言うと、「はい、黙っていてください」と答えます。ベテルからエリコへ、その時も全く同じようにエリシャは離れません。ひつつきもちのように、金魚のふんのように。私たちも与えられるまで求め続けましょう。

いの祈り
天のお父様、エリシャの姿は、熱心に求めて祈り続けるようにと教えてくれています。あきらめないで祈ります。

10月7日(水)

せいしよ
聖書

れつおう じよう
列王上 18・30～39

せいしよ
聖句

民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。 39節

さて、主の預言者エリヤの番です。こわれた祭壇をきずきなおし、12部族の数によって12の石で築き、まわりにみぞを作り、また、たぎぎを並べ、その上に牛です。そして四つのかめいっぱいの水を上からザアッザアッザアッザアッとかけ、それを三度しました！キヤー、水びたしだよ！「一体どうして火がつくの？」と思うでしょう。エリヤの祈り。その時です！主の火が天から下ってすべてを焼きつくし、民はひれ伏して「主が神である!!」と叫びました。

いの祈り
天のお父様、聖霊にみたまされたエリヤの真剣な祈りに答えて、神様であられることを証明してください。感謝します。

10月10日(土)

せいしよ
聖書

れつおう げ
列王下 2・9～14

せいしよ
聖句

彼が水を打つと、水は左右に分れたので、エリシャは渡った。 14節

「わたしが取られて、あなたを離れるのを見るならば、そのようになるであろう」と聞いて、エリシャはずっとエリヤ先生を見つづけました。突然！天からの火の車と火の馬！ついにエリヤはつむじ風に乗って天にのぼっていきました。ヘカッコイ！エリシャはしかり見つけて、「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と叫びました。エリヤが落とした外套でヨルダンの水を打つと、みごと水が左右に分れて、彼は渡ったのです。

いの祈り
天のお父様、エリヤの言葉に従ってみたエリシャに同じ霊が宿りました。わたしもみ言葉に従って聖霊に導かれる者になってください。

10月9日(金)

せいしよ
聖書

れつおう げ
列王下 2・6～8

せいしよ
聖句

エリヤは外套を取り、それを巻いて水を打つと、水が左右に分れたので、ふたりはかわいた土の上を渡ることができました。 8節

「わたしもあの人のような素晴らしいクリスチャンになりたい」というような人があなたのまわりにいますか？エリシャは、エリヤ先生のように神様のお役に立ちたいと思っていたので、真剣でした。いよいよヨルダン川のほとりに来ました。とどめられてもなおエリシャはエリヤとともにいて離れません。エリヤが外套で水を打つと左右に分かれました！エリヤの地上最後の奇跡でした。聖霊の力がみなぎっていました。

いの祈り
天のお父様、あなたに従う者のために注がれる聖霊の力の奇跡が、今も信じる者を通して起こされると信じます。

10月11日(日)

せいしよ
聖書

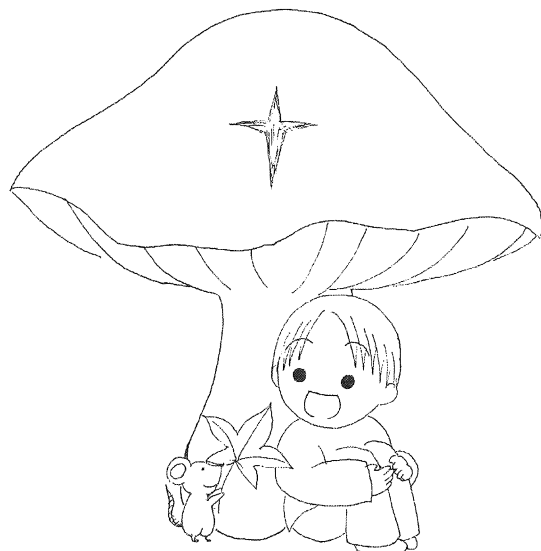
イザヤ42・1～9

せいいく
聖句

わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。 1節

神様にせうかく祝福の民として選ばれたのに、イスラエルの民はまことの神様を離れて、偶像を拝み、その生活は乱れに乱れました。そんな中で、イザヤはまことの神様のしもべ、預言者として大胆に語りました。「しもべの中のしもべ」、やがて来られる「主のしもべメシヤなるイエス様」の幻が示されて、四つのしもべの歌を書いていきます。この方は神様が支持するしもべで、神様が喜びをもつて選ばれた方だ。静かにまちがいない救いの道を示す方だと。

いのちの祈り
天のお父様、あなたに支持され喜んで選ばれた主のしもべ、イエス様にならっていけるように教えてください。



せいしよ
聖書

イザヤ42・1～9

タイトル

イザヤ

あんしよせいいく
暗唱聖句

わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。

イザヤ42・1

もく
目

創造者なる神様のまことのしもべとされよう。

10月13日(火)

せいしよ
聖書

マタイ12・9～21

せいいく
聖句

彼が正義に勝ちを得させる時まで、いためられた葦を折ることがなく、煙っている燈心を消すこともない。 20節

「イザヤが預言した主のしもべは、まさしくこのイエス様ですよ」と、マタイがあかししたところですよ。コチコチの律法学者やパリサイ人たちにならって、人々の頭も心もキチキチと律法どおりに動いていたのです。愛も、あわれみも、いたわりの心もどこかへ吹っ飛んでしまっていました。でもイエス様はちがいました。安息日であっても、大きなあわれみの心で片手の動かない人に「手を伸ばしなさい」といやってあげました。そこでマタイはイザヤの預言のことを言ったのです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたはほんとうに愛のお方です。わたしの心も他の人への愛と思いやりの満ちた心になしてください。

10月12日(月)

せいしよ
聖書

イザヤ42・1～4

せいいく
聖句

また傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす。 3節

葦という植物は、風の一吹きによっても折れるような弱い草です。それが傷ついてしまったら、「ああ、もうダメ、折れるウ…」という感じです。昔はランプのあかりを使い、今にも消えそう、それに煙は出て目にしみるし、いっそのこと「消しちゃえ」と言ってもみ消したくなるあかり。実は、そんな感じの人間をも優しく慰め、励まし、力づけ、正しい道に歩み続けさせてくれるのがこのしもべイエス様なのです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたの喜ばれるしもべ、イエス様のかぎりない優しさをありがとうございます。わたしもならえますように。

10月15日(木)

聖書

イザヤ50・4～9

聖句

主なる神はわたしの耳を開かれた。わたしは、そむくことをせず、退くことをしなかった。 5節

さあ、第三のしもべの歌はどんな内容でしょう。ここには神のみ心によって、苦しみを喜んで耐え忍ぶしもべの姿が描かれています。朝ごとにしもべは神様から耳を開かれて、神様の心で悟り、またその舌に疲れた者を助ける言葉が与えられます。十字架にかかれる前、むちで打たれ、ひげを抜かれ、つばきをかけられ、あざかけられ、ののしられました。それが神様の求められることだからです。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様のしもべとしての模範のお姿を、心よりありがとうございます。思い出して、わたしもなりたいです。

10月14日(水)

聖書

イザヤ49・1～6

聖句

海沿いの国々よ、わたしに聞け。遠いところのもろもろの民よ、耳を傾けよ。 1節

第二のしもべの歌です。このしもべのみ言葉、救いのメッセージが、海沿いの国々、遠いところのもろもろの民に、そして地の果にまで届いていくという預言です。世界地図で見れば、本当に小さなイスラエルの国から、全世界へ、地の果へ！ということば、どの国にも、偶像がうようよあつて、人々はまちがった神を拝んでいるということです。日本にも八百万の神がいるとあざけられるほどです。救いのみ言葉が届けられて感謝です。

いのちの祈り
天のお父様、鋭いつるぎのようなみ言葉で、わたしたちの心を照らし、わたしたちを救い、光としてくださり感謝します。

10月17日(土)

聖書

イザヤ53・1～12

聖句

彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。 5節

「彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった」(3)とあります。イエス様を侮ったばかりが十字架で死なれたイエス様を尊ばなかったのは、ユダヤの人々ばかりでなく、「わたし」もです。し、「全人類」もそうでした。そんなわたしが受けるべき刑罰をイエス様が代わって受けてくださり、ありがとうございます。感謝の言葉がみつかりません。懲らしめの代わりに平安をくださり感謝します。イエス様が打たれ、傷ついてくださったので、すべての罪の病がいやされ感謝でいっぱいです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたに選ばれ、喜ばれるしもべとは何とすばらしいお姿でしょう。わたしもあなたの真のしもべとされたいです。

10月16日(金)

聖書

イザヤ52・13～15

聖句

見よ、わがしもべは栄える。彼は高められ、あげられ、ひじょうに高くなる。 13節

きょうと明日のところが、一番よく知られている第四のしもべの歌です。ここには二つのメッセージがあります。「あげられ」という言葉の中には、十字架の上にあげられるという意味がこめられています。そして14節のように人々があまりにそこなわれた顔だちに驚く様子が表わされています。ビデオの「ジ・ガス」や映画の「パッション」で主の苦しみの様子をみるとよくわかるでしょう。ところがそのあと、よみがえらされた主は高められ、ひじょうに高くされ、栄えるのです。

いのちの祈り
天のお父様、主のしもべイエス様の十字架でのお苦しみは目をそむけ口をつぐむほどのものでした。感謝します。

10月18日(日)

せいしよ
聖書

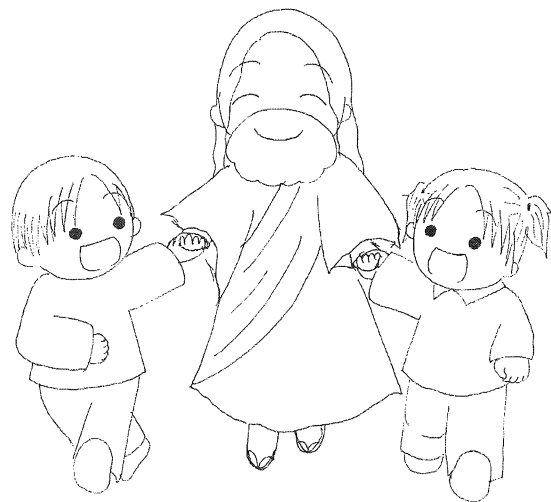
ミカ6・1～8

せいこく
聖句

主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。 8節b

偶像を拝み、どんなにたくさんのもを
をおささげしても、心はきれいにはして
もらえません。まことの神様がわたした
ちに求められることは――神様が義なる
方、愛なる方であるように、わたしたち
も義の行いをし、いつくしみを愛して、心
からへりくだって、神様と共に歩むとい
うことです。なぜなら、わたしたちの恥ず
かしい罪をゆるしてくださったのは、神様
のひとり子イエス様の十字架によってで
した。忘れてはいけません。

いのちの祈り
天のお父様、あなたの大きな愛と恵みによつてのみ、今生かされています。心よりへりくだって共に歩ませてください。



せいしよ
聖書

ミカ6・1～8

タイトル

ミカ

あんしやうせいこく
暗唱聖句

主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。ミカ6・8b
へりくだって神様と共に歩もう。

もく
目

ひよう
標

10月20日(火)

せいしよ
聖書

ミカ3・5～8

せいこく
聖句

しかしわたしは主のみたまによって力に満ち、公義と勇氣とに満たされ、ヤコブにそのとがを示し、イスラエルにその罪を示すことができる。 8節

インチキ、食いしん坊預言者がここに登場しています。おいしいものをくれる人には「大丈夫、安心なさい」と言い、そうでない人にはおどかすのです。しかし、まことの神様の預言者ミカは全然ちがいます。神様の霊に満たされて、正しい霊と勇氣とに満たされて、きびしく堂々と、「それはいけないこと！それは神様の前に罪だ！」って、示すことができるというのです。それでこそ本當の預言者ですよね。

いのちの祈り
天のお父様、何でもあいまいにしまわないうで、ハッキリと罪が見え、示すことができる大切さを思います。

10月19日(月)

せいしよ
聖書

ミカ3・1～4

せいこく
聖句

イスラエルの家のつかさたちよ、聞け、公義はあなたがたの知っておるべきことではないか。 1節

学校の場合なら、校長先生や教頭先生は、学校のルールをよく知っているはずですから、それを守るはずですね。ミカは「聞け」と叫んで、イスラエルの家のつかさたちに主の言葉を聞かせたのです。彼らはイスラエルの指導者たちなのだから、義しいことが何であるかよく知っているはず。それなのに、彼らはリーダーの權威をふり回して、民から利益を奪い取っていたのです。そんな人たちの祈りを神様はお聞きになるはずがありません。み言葉によく聞いて正しく歩みましょう。

いのちの祈り
天のお父様、わたしの耳、心の耳もよく開いて、み言葉に聞くことができますように。ふさわしく歩めますように。

10月22日(木)

聖書

ミカ 5・1～4

聖句

しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。 2節

イエス様がヘロデ王の代にお生れになった時、東の博士たちがやってきて「どこにおられますか」とたずねました。ヘロデ王は「キリストはどこに生れるのか」と祭司長や律法学者たちに問うと、「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこうしています」と言つて、ミカの預言を示したのです。ユダの氏族のうちで小さいベツレヘム・エフラタ、そこにイスラエルを治めるメシヤが誕生する！暗い時代に何という大きな希望の光！

いのちの祈り 天のお父様、あなたのご計画は何て希望に満ちたものでしょう。暗く沈んでいる人たちにイエス様を伝えます。

10月21日(水)

聖書

ミカ 4・1～5

聖句

しかしわれわれはわれわれの神、主の名によって、とこしえに歩む。 5節

預言者のことを他の言い方では、「先見者」と言っていました。いいねえ、先のことを見せてもらえるなんて。ここには、末の日になってイスラエルが再び神様のもとに帰り、多くの国の人々が、「ヤコブの神の家にいる」と、正しい道を求めるようになると記されています。律法はシオンから、主の言葉はエルサレムから出るからです。でも現実、今はそれぞれの民はその偶像の神の名で歩んでいる、その中で主の民は主の名によって歩むのです。

いのちの祈り 天のお父様、わたしたちにも永遠のみ国が見えています。その光の中を、あなたの名によって日々歩ませてください。

10月24日(土)

聖書

ミカ 7・18～20

聖句

あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ、 19節

ある人が世界地図をじっと見ていたかと思ふと、急に「ハレルヤ〜」って叫びました。「何がそんなにハレルヤなの？」と聞くと、「見てごらんさい。この地図にある海の深み！神様はわたしの罪も、こんなにも深い海の底に投げ入れ、沈めてしまってくださいったんだと思つたら、思わず、ハレルヤ〜と出るでしょう」と答えたということでした。わたしたち罪人をあわれんで、罪を全くゆるし、不義を足で踏みつけてくださるのは、ただ真の神様だけです。

いのちの祈り 天のお父様、たったおひとり、あなただけがわたしの罪を海の深みに投げ入れ、ゆるしきよめてくださることを感謝しています。

10月23日(金)

聖書

ミカ 7・8～10

聖句

たとわたくしが暗やみの中にすわるとも、主はわが光となられる。 8節

「おきあがりこぼし」って知っていますか。見たことありますか？その仕組みも知っていますか？ドンと倒してもすぐポンとおきあがってきます。ミカは、預言者のわたしはそのように倒されても起きあがるのだから、「わが敵よ、喜ぶな」と言います。「たとい暗やみの中、八方ふさがりの中にすわったとしても、主がわたしの光となれるのだから」と。光なるイエス様を心にお迎えすることができるのは何て大きな喜びでしょう。やみは光には勝てないのです。

いのちの祈り 天のお父様、ミカのように、わたしの心の中にも動かされない重石のように、光なるイエス様がいてくださり感謝します。

10月25日(日)

せいしよ
聖書

エレミヤ29・10～14

せいいく
聖句

わたしがあなたがたにたいしていだいて
いる計画はわたしが知っている。11節

窓ガラスと窓ガラスにはさまれてバタバタして
いるバツタを助け出してあげようとつかみま
す。そして外の広い所に逃がしてあげるの
ですが、つかまれたバツタはまだバタバタ
します。助けてもらえるのがわからないから
なのです。イスラエルの民は、ちょうど神
様の計画がわからないバツタのようです。
しかし、エレミヤにはちゃんとわかってい
ました。二セ預言者は捕囚は2年くら
いと言っけれど、本当は70年だと。必ず
また帰れるので、今はバビロン王に従うよ
うにと語ります。

いのちの祈り
天のお父様、あなたがわたしのために計画を持
っていてくださり、感謝します。いつも信頼して
従えますように。



せいしよ
聖書

エレミヤ29・10～14

タイトル

エレミヤ

あんしやうせい
暗唱聖句

わたしがあなたがたにたいしていだ
いている計画はわたしが知っている。
エレミヤ29・11

もく
目標

神様の計画を知り、人々に語ろう。

10月27日(火)

せいしよ
聖書

エレミヤ17・1～8

せいいく
聖句

おおよそ主にたより、主を頼みとする
人はさいわいである。7節

イスラエルの民は生ける水の源である神様を
捨てて、自分で水ためを掘りました。それはこ
われた水ため、水を入れておくことのできな
いものです(2章)。偶像を拝むユダの罪はも
う彼らの心の碑に刻みつけられてしまっています。
主から心が離れてのろわれるのみです。しかし、
主にたよりぬく人はさいわいです。水のほとり
に植えられた木のように、青々としげり、成長
し、実を結びます。しっかりと神様につながる
人の上に神様の計画がなされていきます。

いのちの祈り
天のお父様、わたしたちは明日のこともわかり
ません。しかしあなたにたよりつながっていくだ
けで安心できます。

10月26日(月)

せいしよ
聖書

エレミヤ1・1～10

せいいく
聖句

あなたはただ若者にすぎないと言って
はならない。7節

神様の計画は、時には、「え?」とおどろ
かされるようなことがあります。エレミヤがそ
うでした。20歳になるかならないころだったので
しょうか、突然神様が、「わたしはあなたがま
だ生れる前からあなたを知って、預言者として
立てました」と言われます。「わたしはまだこ
んなに若いし、どう語ってよいかわかりません」
ととまどうエレミヤに、「若者にすぎないと言わ
ずわたしの言葉を語りなさい」と神様は言われ
ました。涙の預言者誕生です。

いのちの祈り
天のお父様、年若いわたしにも、もしあなたが
お声をかけられたら、あなたの計画にお従いでき
るよう助けてください。

10月29日(木)

聖書

エレミヤ20・7～12

聖句

わたしは一日中、物笑いとなり、人はみなわたしをあざけります。 7節

心やさしい預言者エレミヤだったからこそ、こんな厳しい時代に用いられたのです。これも神様のご計画でした。神様にそむいたユダの民に、「もうすぐ滅ぼされる。バビロンにつれていかれる。」と悲しくつらい預言をするのです。人々からはあざけられ、物笑いにされました。「もう言いたくない」とエレミヤが思っても、主の言葉が骨のうちにとじこめられた燃える火のようになつてとても押えられないと嘆きます。預言者として主の言葉を語るしかないのですね。

いのちの祈り 天のお父様、エレミヤは本当にあなたから召された預言者だったことがよくわかります。どんな時もみ言葉を語りたいです。

10月28日(水)

聖書

エレミヤ18・1～11

聖句

イスラエルの家よ、陶器師の手に粘土があるように、あなたがたはわたしの手のうちにある。 6節

粘土であそぶの好きですか？とってもカラフルなのがあつて楽しいですよ。いろんな形にできるし、つぶしたり、のべしたり、丸めたり、どんなにでもできます。いつまでもあそんでいられますね。神様はエレミヤに、「イスラエルはわたしの手の中であつて、粘土のようだ」と言われます。単なる粘土ではありません。神様の民です。神様の声に聞き従う時に、国は建てられていくのです。きょう、わたしも神様の手の中にぎざられて祝福の形につくられましょう。

いのちの祈り 天のお父様、わたしのためのあなたの最高のご計画が、ちゃんとなしとげられるために、み声に聞き従わせてください。

10月31日(土)

聖書

エレミヤ31・1～6

聖句

わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。 3節

人が愛だと思っているものなどとは比べものにならないほどの、神様の愛がほとばしり出ている愛の告白です。主を捨て、主の言葉を聞こうともせず、主の言葉を語る預言者たちをひどい目に合わせているようなイスラエルの民に、神様が愛の告白をされるのです。「わたしのあなたへの愛は無限だよ。深さも広さも長さも高さもどこまでも限りがない愛だよ。だからその愛をもって愛しているから、いつでもどんな時でもあなたに真実をつくしてきただよ」と。

いのちの祈り 天のお父様、それほどの愛をもってわたしを愛し、わたしのために最高のご計画をもって導いてくださり感謝します。

10月30日(金)

聖書

エレミヤ25・8～14

聖句

そしてその国々は七十年の間バビロンの王に仕える。 11節

バビロンの王ネブカデレザルが王様になった年まで、エレミヤは23年もの長い間、ユダとエルサレムに住む人々に涙をもって語ってきました。「偶像を拜む罪から離れて、主に立ち帰りなさい」と。でも人々は耳を傾けようとしませんでした。ついに主はエレミヤの口によって言われます。「70年の間バビロンの王に仕える」と。しかし、70年が終わるとバビロンを罰するとの約束です。だから、平安と、将来と、希望を与え、計画なのだと(29章)。

いのちの祈り 天のお父様、今も語られても語られても聞こうとしない人が多いです。でもエレミヤのように語らせてください。

11月1日(日)

聖書

エゼキエル47・1～12

聖句

この川の流れる所では、すべてのものが生きている。 9節

ある時、水そうの中で魚が止まって死んでいるのを見て、ゾツとしました。やっぱり流れる川の中でピチピチはねたり泳いでいる魚を見たいです。バビロンにとらわれの身となったイスラエルの民と共にいたエゼキエルは、そんな失望、絶望の中にも神様から希望の幻を見せてもらって、民に語ったのです。神殿から流れ出す大きな川。その川が流れる所では、何もかもが生かされる！今、私たちに注がれている聖霊の幻です。心を清くし、生かしてください。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架から流れる聖霊の豊かな川を感謝します。聖霊を信じて受けて、身も魂も生かされたいです。



聖書

エゼキエル47・1～12

タイトル

エゼキエル

暗唱聖句

この川の流れる所では、すべてのものが生きている。

エゼキエル47・9

目標

今も注がれつづける聖霊のみわざに期待しよう。

11月3日(火)

聖書

エゼキエル36・22～27

聖句

わたしは清い水をあなたがたに注いで、すべての汚れから清め、またあなたがたを、すべての偶像から清める。25節

イスラエルの民は神様の聖なる名をあらわすために選ばれたのに、偶像のとりこになつて、聖なる神様のお名前を汚してしまいました。神様はご自分のお名前のために、イスラエルの民を偶像から清めると言われます。新しい心、新しい霊を与え、神様の霊を民のうちに置いて、神様のおきてが守れるようにしてあげます。神様がそうしてください。ならそうなのです。聖霊が心にお宿りくだされば、喜んで神様の言葉に従えるようになるので不思議です。

いのちの祈り 天のお父様、私の心にも清い水なる聖霊を注いでください。喜んであなたに従っていただけるようにしてください。

11月2日(月)

聖書

エゼキエル1・1～14

聖句

わたしがケバル川のほとりで、捕囚の人々のうちにいた時、天が開けて、神の幻を見た。 1節

エゼキエルという預言者の名前は、「神が力づけられる者」という意味です。あなたの名前にも何か意味があるのかな？という子ども、人になつてほしいという願いをもつて名前がつけられたのでしょうか。とらわれの身という悲しい中で、エゼキエルは神様によつて力づけられました。天が開かれて幻を見せてもらったのです。そして民を励まししました。四つの生きものを絵に描けるかしら？従順な四つの生きもののようにエゼキエルも御霊に導かれて用いられました。

いのちの祈り 天のお父様、今も希望がみつけれられないような世の中です。あなただけが希望と励ましをくださるお方です。

11月5日(木)

聖書

エゼキエル47・1～6 a

聖句

その人は東に進み、手に測りなわをも
って一千キュビトを測り、わたしを渡
らせた。 3節

長い浅瀬のある海に行つたことがあります
か？ だんだんと水が深くなつていくでしょう。
ここは川です。一千キュビト、つまり450メー
トルくらいずつ深みへ歩いていきます。聖霊
をさしている川の水がまずはくるぶしに。
それは清い歩みです。次はひざに。聖霊に
よる祈りの生活です。その次は腰の所まで。
これは神様のための力ある奉仕です。ついに
は泳げるほどの水、越え得ないほどの川に
なりました。聖霊に満たされた豊かな生涯
を示しています。

いのちの祈り
天のお父様、すばらしい聖霊の川の幻をありが
とうございます。全身全霊、どっぷり聖霊の川に
つかつた生き方をしたいです。

11月4日(水)

聖書

エゼキエル37・1～10

聖句

すると彼らは生き、その足で立ち、は
なはだ大いなる群衆となった。 10節

エゼキエルは主の霊に導かれて、谷の中に置か
れました。ウワツ、そこは骨だらけ、骨、骨、
骨、骨で満ちていたのです。理科教室に人の体
の骨の標本があるでしょう？ ここには本物の、
しかも枯れ枯れの骨です。イスラエルの全家は
こんな有様だと神様は言われます。ところが、
預言せよと命じられ預言すると！ 骨が集まり、
筋肉、皮でおおわれました。息に預言すると
彼らは生き、立つたのです！ 驚くべき幻。枯
れた骨のような人も生き返るのです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたは本当に命の源なるお方
です。骨をもよみがえらせるあなたに、大きな期待
をもって祈ります。

11月7日(土)

聖書

エゼキエル48・30～35

聖句

この日から後、この町の名は「主そこ
にいます」と呼ばれる。 35節

エゼキエルはくわしい神殿の幻と、その神殿を
取り囲む町の幻を見せられます。この町は正方形
ですね。あなたが通っている教会を取り囲む町
の形と大きさはどんなでしょう？ 四角かな、
三角かな、長方形かな。この町には四方に三つ
ずつ門があります。どこかで聞いたことのある
門の名前ですね。何より町の名前が素晴らしい！
『主そこにいます』。実はこの町の幻も、やがて
信じる私たちが迎え入れられる新しい都をさし
ているのです（黙示録21章）。

いのちの祈り
天のお父様、とらわれのイスラエルに、何とい
う希望の幻でしょう。私にもこの希望のメッセー
ジを伝えさせてください。

11月6日(金)

聖書

エゼキエル47・6 b～12

聖句

川のかたわら、その岸のこなたかなた
に、食物となる各種の木が育つ。 12節

あなたのお家や学校にも、実のなる木が植え
られていますか？ チェリー、リンゴ、桃、びわ、
柿、すもも、なし、レモン、グレイプフルーツ、
オレンジ、あんず、ぶどう。毎月、新しい実が
なるなんてうれしいですね。この川の両側は何
ていいがめで、おいしそうな眺めだったこと
でしょう！ やっぱり川の水がスペシャルだからです
ね。実はエゼキエルの見たこの川は、やがて、新
しい天地、神様の御国のまん中をキラキラと流
れる水晶のようないのちの水の川の幻です。

いのちの祈り
天のお父様、希望の中の希望は、やっぱり天国
です。聖霊によって天国で生きるように生きられ
ますように。

11月8日(日)

聖書

ダニエル 2・25～49

聖句

しかし秘密をあらわすひとりの神が天におられます。 28節

世界にはいろいろな秘密、シークレット、ミステリーがあります。人の頭でどんなにアレコレ考えても、話し合ってもわからないこと、それを教えてくださるのが神様です。パッと天の知恵の倉を開いてね！まことの神様を知らないバビロン王ネブカデネザルが見た夢とは!?それを話もししないで、「夢をあてよ、その意味を教えよ」とは全くワマン王です。ダニエルは友人たちと祈って示されたのです！その天におられるひとりの神様を証しました。

いのちの祈り 天のお父様、捕囚の地でバビロン王のひどい要求にもみごとに答えたダニエルの夢解きの力は、あなたによることがわかります。



聖書

ダニエル 2・25～49

タイトル

ダニエル

暗唱聖句

しかし秘密をあらわすひとりの神が天におられます。ダニエル 2・28

目標

多くの偶像の中で、ひとりのまことの神様を証しよう

11月10日(火)

聖書

ダニエル 1・8～16

聖句

ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思定めた。 8節

バビロン王はまた王の食べる食物と王の飲む酒の中から日々彼らに与えて3年の間養育せよとしました。しかし、ダニエルの一大決心！ふつう考えると、奴隷の身で王の食物、飲料がいただけるのは光栄なのですが、いや、自分はそれらの偶像にささげた肉などを食べて、自分を汚したくはないと心に決めました。そして宦官の長に頼んで野菜と水だけで10日間ためさせてもらいました。大成功！他の若者たちより健康なのですと野菜と水でいきました。

いのちの祈り 天のお父様、ダニエルの良い決心をあなたがとても喜んで、その願い通りにされました。清くあらせてください。

11月9日(月)

聖書

ダニエル 1・1～7

聖句

彼らのうちに、ユダの部族のダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤがあった。 6節

ダニエルと三人の友人たちは16歳くらいの時、なつかしいユダヤから遠くバビロンの地につれてこられました。バビロン王は若くて賢く美しい者たちにバビロンの教育をして、自分に仕えさせようと思いました。まずはバビロン名がつけられて、試験が始まりました。「エル」とか「ヤ」というのはヘブル語でまことの神様をあらわしているのです。バビロン名をつけられたからといってこの四人がまことの神様から離れていくなんて考えられせんよね。

いのちの祈り 天のお父様、捕われの地バビロンで、ダニエルや三青年がどのようにまことの神様を証ししていくのか楽しみです。

11月12日(木)

聖書

ダニエル 2・1～11

聖句

世の中には王のその要求に応じる者
はひとりもありません。 10節

「私は「うーう、うーう」夢を見たのだけれど、どういう意味かしらう」と言うならまだいいけれど、「わたしは夢を見た、その意味を知りたいと悩んでいるのだ。夢を言い当てる、その意味を解いてくれ」なんて、非常識だし、そうできないなら知者たちは刑罰を受けるなんて、ますますひどい話です。バビロン王の家来たちは困り果てて、「そんな王の要求にどんな人も答えられません。神々以外に示しうる者はないでしょう」と言います。人のピンチー！

いの祈り 天のお父様、すべてのことはあなたのみゆるしのもとに起こってきます。人のピンチはあなたのチャンスと聞いています。

11月11日(水)

聖書

ダニエル 1・17～21

聖句

この四人の者には、神は知識を与え、すべての文学と知恵にさとい者とされた。 17節

さらに、ダニエルには「すべての幻と夢とを理解」する力を、神様がお与えになりました(17)。さて、ついに3年の月日がたちました。若者たちはネブカデネザル王の前に連れてこられました。王は彼らと語って見たのですが、ダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤの知恵と理解力はズバ抜けていて、全国の博士、法術士より10倍もあつたというのですからたまげたものです。やっぱり、「主を恐れることは知識のはじめである」(箴言1・7)のとおり！

いの祈り 天のお父様、まことの知恵と知識とは、あなたから与えられることがよくわかりました。あなたを心からおそれ敬います。

11月14日(土)

聖書

ダニエル 2・36～45

聖句

それらの王たちの世に、天の神は一つ
の国を立てられます。 44節

さて、その夢とは!? 一つの巨大な像。頭は純金、胸と両腕とは銀、腹ともとは青銅、すねは鉄、足の一部は鉄、一部は粘土という、恐ろしいばかりの像です。ダニエルは言います、「あなたはあの金の頭です」と。そして第二、第三、第四と全世界を治める国々がおこります。そしてやがて一つの石が人手によらず山から切り出されて、その石が巨像を打ち砕きます。その石は天の神様が打ち立てる永遠に至る国を示していますと、天の神の御国を証しました。

いの祈り 天のお父様、バビロン王をも恐れず、ダニエルは天の神様を証しました。その大胆な信仰にならせてください。

11月13日(金)

聖書

ダニエル 2・12～24

聖句

ついに夜の幻のうちにこの秘密がダニエルに示されたので、ダニエルは天の神をほめたたえた。 19節

カルデヤびとら、つまり王に仕えるバビロン人たちが「こんなことをたずねた王はかつてありませんでした」と言う、王はカンカンに怒って、バビロンの知者をすべて滅ぼせと命じました。ダニエルたちも殺されそうになった時、ダニエルは王に願って時間をもらいました。ダニエルは三友人に話し祈りました。祈り続けるダニエルに、ついに夜の幻のうちにこの秘密、つまり夢とその意味が示されたのです！そして、ダニエルは天の神様をほめたたえました。

いの祈り 天のお父様、ダニエルの命がけの祈りは何と力あるものだったのでしょうか。私も力ある祈り手になりたいです。

11月15日(日)

聖書

ダニエル 3・1～30

聖句

わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。 17節

みんながやってくるから、私もしなきゃとい
うのとはかなりちがった生き方をするのが、
まことの神様を信じる人たちです。この三
青年がそうでした。27メートルもの、どでか
い金ピカの像をネブカデネザルは建て、音楽
とともに拝ませました。でも三青年は拝み
ません。「もし、拝まないなら火の燃える炉
の中に投げ込む」と言われても、です。彼
らは自分たちが信じて仕えている神様は救っ
てくださると徹底的に信頼しました。たと
い死ぬとしても、金の像は拝みませんと！

いのちの祈り 天のお父様、目に見えないあなたを信頼するのはとても難しいですが、見えるものに惑わされずあなたに信頼します。



聖書

ダニエル 3・1～30

タイトル

三青年

暗唱聖句

わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。

ダニエル 3・17

目標

三青年のように徹底して神様に信頼しよう。

11月17日(火)

聖書

ダニエル 3・8～12

聖句

その時、あるカルデヤびとらが進みきて、ユダヤ人をあしざまに訴えた。 8節

ダニエルの夢解きの前から、若くて美しく
て賢い四人の青年たちは、王のお氣に入り
て王の前にはべっていました。おまけにあの
夢解きのおかげで、ダニエルには高い位が授
けられ、贈り物まで与えられ、バビロン全州
の総督とされました。このダニエルの願いに
よって三青年もバビロン州の事務をつかさど
るようになりました。バビロンの人々は太い
にねたんで、ネブカデネザル王に訴えまし
た。「あの事務をとる三人はあなたの金の像
を拝みません」と。

いのちの祈り 天のお父様、いつでも神様を信頼し従う者、祝福されている人をアクマはねたむのだとよくよく悟りました。

11月16日(月)

聖書

ダニエル 3・1～7

聖句

ネブカデネザル王は一つの金の像を造った。 1節

王の頭の中には、あの夢のことがきつとぐるぐる回っていて忘れられなかったのでしょうか。そして思い立って、一つの金の像を造りました。高さ27メートル、幅2.7メートルという、それはそれは巨大なものでした。しかも、あの夢とは全然ちがって、頭のとっぺんから足のつま先まで、金ピカだったのです。「ワシの国はいつまでも続くのじゃ、すべての者はひれ伏して拝め」と、まるで、天のまことの神様への大反逆の姿ではありませんか！

いのちの祈り 天のお父様、ダニエルによる夢解きにもかかわらず、王はそれを無視しました。あなたのみ恐れさせてください。

11月19日(木)

聖書

ダニエル 3・19～23

聖句

シャデラク、メシャク、アベデネゴの三人は縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。 23節

ネブカデネザル王はカンカンに怒って、三青年にむかつて顔色を変えてしまふほどでした。そして「炉の温度を平常よりも7倍も熱くせよ」と命令しました。きつと王の顔もまっかつかだつたのでしょう。力の強い人々が三人をそのまましばって、炉のそばまで行きました。すると、あまりに熱く熱く燃えていたので、引きつれて行った人々はその炎で焼き殺されてしまったのでした!! 三青年は、しばられたまま、心静かにその火の燃える炉の中に落ち込んでいきました。おお!!

いのちの祈り
天のお父様、三青年の、あなたへの何という信頼! その落ち着き、その姿は言葉にできないほどのものです。

11月18日(水)

聖書

ダニエル 3・13～18

聖句

たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません。 18節

まことの信仰は、ご利益信仰ではありません。救ってくれるから信じるのでも、願いを聞いてくれるから信じるのでもありません。神様がまことの神様だから、恐れ敬い、従うのです。この神様以外のものは拝まないのです。たとい救うてくださらなくても、火の燃える炉の中で死ぬようなことになろうとも、わたしたちは王の神々に仕えず、王の立てた金の像を拝みませんという、まさに命をかけた本物の信仰なのです。

いのちの祈り
天のお父様、三青年のスゴミのある信仰の姿勢は立派です。私にもそのような筋金入りの信仰を養ってください。

11月21日(土)

聖書

ダニエル 3・26～30

聖句

その頭の毛は焼けず、その外套はそこなわれず、火のにおいもこれに付かなかった。 27節

マッチの火で髪の毛を焼いたり、まつ毛やまゆ毛を焼いたりしたことのある人、いるでしょうか? ストーブやたき火の近くでつい洋服をこがしたりしたことのある人もいるかな? 毛はちりちりになるだけでなく、こげ臭いにおいがします。洋服だって同じですね。ところがです! ふだんより7倍も熱くしている火の燃える炉の中にそのままほうり込まれたのに、火のにおいも付かなかったなんて!! 全く、完全勝利でした! まことの神様のみわざはただスゴイ。

いのちの祈り
天のお父様、捕われの地、偶像の地で、三青年を用いてあなたがあざやかに栄光をあらわされ、感謝します。

11月20日(金)

聖書

ダニエル 3・24～25

聖句

その第四の者の様子は神の子のようだ。 25節

ガバツと突然立ちあがるネブカデネザル王! 「われわれはあの三人をしばって、火の中に投げ入れたではないか。」「王よ、そのとおりです。王は目をこするかのようにして、目を皿のようにして叫びます。」「ややっ、四人じゃ。なわめもなしに火の中を歩いているぞ。どうしたことが、なんの害も受けておらんぞ。その第四の者: うーむ、神の子のようだ。」「王様は全くうなづいてしまいました。そう、実は神の子イエス様が彼らと共に歩き、救ってくださったのです。」

いのちの祈り
天のお父様、やっぱり、何というあなたらしいみわざでしょうか。信頼する者はずかしめないあなたをほめたたえます。

11月22日(日)

聖書

マラキ 3・6～12

聖句

わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。 10節

あなたの家でも何か収穫しましたか？お米や野菜や果物や木の実や、収穫って本当にうれしく楽しいですね。「それー」ってパクパク食べる前に、ちよつと神様からのメッセージです。収穫を与えてくださる神様への感謝のしるしとして十分の一を取り分け、おささげするのです（申命記14・22）。預言者マラキの時代、暗黒の400年直前、人々はそれを怠りました。神様は「わたしを試み」てみなさい、十分の一をささげると天の窓からあふれる恵みが注がれるからと言われます。

いのちの祈り 天のお父様、豊かな収穫を心より感謝します。おこづかいの十分の一も喜んでおささげしていきます。祝福してください。



聖書

マラキ 3・6～12

タイトル

収穫の祝福

暗唱聖句

わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。 マラキ 3・10

目

標

収穫の主に感謝をささげよう。

11月24日(火)

聖書

詩篇 65・10～11

聖句

あなたの道にはあぶらがしたたる。 11節

神様の川の水により、田みぞが豊かにうるおされます。そのうねが整えられます。さらにここには夕立がふり注がれるとあります。ジョロやバケツやホースでまくのと全然ちがいます。いきなり黒い雲が出てきたかと思うと、雨がザーッと降ってきますよね。すると一面、うるおってしましますから、素晴らしい！あぶらがしたたるとは、サラダオイルでなくて、生活が天からの恵みと祝福でいっぱいになるといふことです。上からの祝福の水滴を改めて感謝しましょう。

いのちの祈り 天のお父様、自然界も乾くことがないように、私たちの身も心も魂もうるおしてくださるあなたの祝福を覚えさせてください。

11月23日(月)

聖書

詩篇 65・9

聖句

神の川は水で満ちている。あなたはどのように備えて彼らに穀物を与えられる。 9節

この夏、水不足で悩んだ地方の人々もあつたでしょうね。ダムやため池や用水で工夫して切りぬけたのでしょうか。雨や雪や雹（ひょう）や、とにかくこのような水滴は、人の力ではどうにもなりません。そんな中で、「神の川は水で満ちている」と聞くと、なにかとてもうれしくなれます。神様の川はいつも満ちたんで、流れても流れても決して干れたり、なくなったりしない。そうして穀物やすべての食物が与えられます。この川はまた聖霊の豊かな川も示します。

いのちの祈り 天のお父様、地上ではいろいろと欠けや不足があっても、あなたの川はいつも水で満ちていることを感謝します。

11月26日(木)

聖書

詩篇104・10～13

聖句

地はあなたのみわざの実をもって満たされる。 13節

さて、神様の川の恵みは、上からの水滴だけではないということがここでわかります。そう、「泉」ですね。英語でスプリングと言つと、「春」とか「バネ」という意味、そして「泉」もそうです。これは地中、深い所から、こんこんと不思議にわき出てくるものです。どんなにふたをしてもだめです。神様の恵みと祝福も、実は「泉」のようにわき出て、うるおしてくださるのです。獣や野るば、空の鳥の幸せそうな様子！そして地には神様のみわざの実が満ちるのです。

いのちの祈り 天のお父様、地のすべての実はあなたのみわざによります。地をうるおし、獣をうるおす、あなたの泉を感謝します。

11月25日(水)

聖書

詩篇65・12～13

聖句

もろもろの谷は穀物をもっておおわれ、彼らは喜び呼ばわって共に歌う。13節

牧場に行ったことがありますか？牧場にはおいしい牧草、みどりの牧草がいっぱい！小山もはげ山ではなくて、こんもり木や草や花がしげっている！いかにも喜びのガウンを着ているみたい。だから牧場にはおいしい牧草を食べさせてもらう羊の群れがいます。黄金色の稲の穂がぎゅっしりいっぱい詰まった田畑を見たことがありませんか？その田畑がずっとずっと広がっていると本当に喜びがわき出て歌いたくなります。収穫の喜びは、神様の川からですね。

いのちの祈り 天のお父様、人や獣や自然界に、豊かな収穫を与えて、喜び呼ばわらせ共に歌わせてくださりありがとうございます。

11月28日(土)

聖書

詩篇126・1～6

聖句

涙をもって種まく者は、喜びの声をもって刈り取る。 5節

この詩は10月に学んだバビロン捕囚から人々がユダヤの国に帰れた喜び、夢見るような喜びを歌ったものです。また、収穫感謝祭の始まりとなった、メイ・フラワー号で一六二〇年にアメリカにきたピューリタンたち102名。はじめの年の冬には寒いのと収穫ができなくて半分の人々が死ぬという、涙の種まきでした。でも次の年はインディアンに教えてもらって大収穫、大感謝。大きな喜びの収穫の前には涙の種まきがあります。でも必ず必ず喜びの収穫が約束されているのです。

いのちの祈り 天のお父様、収穫感謝祭を通して多くのことを教えてくださり感謝します。あなたの祝福を信じていろんな種をまきます。

11月27日(金)

聖書

詩篇104・14～18

聖句

あなたは家畜のために草をはえさせ、また人のためにその栽培する植物を与えて、地から食物を出させられる。 14節

「地から食物を出させられる」って、これも不思議で驚きですよ。どんなものがありますか？特に「根菜」といわれるヘルシーなもの。ちよつとお料理教室みたいだけ。レンコン、大根、人参、ごぼう、しょうが、さつまいも、じゃがいも、玉ねぎ、ホワイトアスパラ！みようが、たくさんあります。全部好きですか？こういうものを人が口から食べて内臓で消化して、そして身体のために栄養となるんだと思つたらますます神様のみわざに驚きました。

いのちの祈り 天のお父様、家畜のためにも、また私たち人間のためにも、ありとあらゆる栄養のある食物をくださり、驚きです。

11月29日(日)

聖書

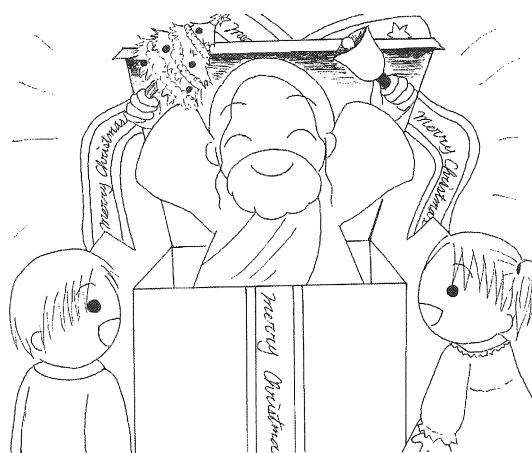
イザヤ9・1～7

聖句

ひとりのみどりごがわれわれのために
生まれた。ひとりの男の子がわれわれ
に与えられた。 6節

「あと9カ月くらいしたら赤ちゃんが生ま
れますよう。まだ男の子か女の子かわかりま
せん」と産婦人科のお医者さんは言える
かもしれないけど、700年も前から、しかもひ
とりの(双生児じゃない!)男の子が生まれ
ますと預言したイザヤは本当に大預言者です
ね。「御子の預言者」と言われる人です。預言
されたひとりの男の子、それが待ちに待って
いる救い主イエス様のことです。暗やみを照
らす大きな光として来られるという希望の預言
でした。

いのちの祈り
天のお父様、今年もアドベントを迎えました。
預言されてお生れくださった救い主イエス様を深
く知らせてください。



聖書

イザヤ9・1～7

タイトル

イザヤの幻

暗唱聖句

ひとりのみどりごがわれわれのため
に生まれた。ひとりの男の子がわ
れわれに与えられた。イザヤ9・6

目標

預言された救い主について知ろう。

12月1日(火)

聖書

イザヤ9・6

聖句

その名は、「霊妙なる議士、大能の神、
とこしえの父、平和の君」ととなえら
れる。 6節

「大能の神」とは「力ある神様」です。新約
聖書を学んできて、思い出すでしょうか? イエ
ス様がどんなにか、力ある神様かということ
を。実は父なる神様が天地を創造された時
も、いつしよにそこにおいて創造の力あるわざを
されたのです。一言葉でもって、海や風や嵐
を静めたり、病気をなおしたり、悪霊を追
い出したり、死人さえもよみがえらせたりさ
れました! 私たちが信じてお頼りしている
イエス様はこのような「力ある神様」だとい
うことを忘れないように!

いのちの祈り
天のお父様、弱い私たちのために「力ある神様」
としての救い主イエス様をくださって心よりあり
がとうございます。

11月30日(月)

聖書

イザヤ9・6

聖句

まつりごとはその肩にあり、その名は、
「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの
父、平和の君」ととなえられる。 6節

「まつりごと」はお祭りじゃなくて「主権」
とか「權威」とも言われます。主権をも
つて、よく家を治めるお父さん、学校を治め
る校長先生、会社を治める社長さんとかね。
イエス様は世界を、そして私たち一人ひとり
の一生涯を治め導いてくださるお方です。
「霊妙なる議士」として。今風に言えば「ワ
ンダフル・カウンセラー」、「不思議で素晴ら
しい相談役」なのです。いろんな人に相談す
るのもいいのですが、だれよりもイエス様に
相談してください。

いのちの祈り
天のお父様、あなたが救い主としておくってく
ださったイエス様を感謝します。何でもお祈り
できますように。

12月3日(木)

聖書

イザヤ9・6

聖句

その名は、「^{れいみよう}靈妙なる^{ぎし}議士、^{たいのう}大能の神、^{ちち}とこしえの父、^{へいわ}平和の君」ととなえられる。 6節

「平和の君」、「プリンス・オブ・ピース」としても美しいひびきですね。内容が魅力的だからです。世界には、今も戦争がつづきます。あなたの学校、クラス、あなたの家庭はどうですか？もしかして、あなたの心の中はどうですか？平和？戦争？わがままな心があばれてはいませんか？イエス様は私たちに本当の平和をくださいます。十字架の縦棒によって、まずは父なる神様との仲直り、平和を。さらに十字架の横棒で、お友だち、人との平和をくださいます。

いの祈り 天のお父様、本当の平和は、イエス様の十字架によらなければ実現しません。私も平和の子どもにしてください。

12月2日(水)

聖書

イザヤ9・6

聖句

その名は、「^{れいみよう}靈妙なる^{ぎし}議士、^{たいのう}大能の神、^{ちち}とこしえの父、^{へいわ}平和の君」ととなえられる。 6節

「とこしえの父」つまり「永遠の父」です。赤ちゃんが父というのもおかしいのですが、赤ちゃんが大きくなり、やがては「永遠の父」となつてくださるのです。みなさんの中にはお父さんの顔を知らない人もいるかも知つといてほしいのに、亡くなつてしまわれたお父さんもおられるかも知。でもイエス様は、私たちの魂の父で、永遠に私たちの父でいてくださるお方なのです。何て心強いでしょう。私たちが天に帰る時も、帰つてからも、永遠にです！

いの祈り 天のお父様、世の中の物も人も、くると変わり過ぎ去りますが、永遠の父イエス様をくださりうれしいです。

12月5日(土)

聖書

イザヤ7・10~17

聖句

見よ、おとめがみごもつて男の子を産む。その名はインマヌエルとなえられる。 14節

この預言のとおりになつたことが記されているマタイ1・18、25を読めば、「なるほど」とよくわかります。おとめマリヤでないのだめだったのです。救い主は聖霊によってマリヤのうちにみごもつて、聖なる赤ちゃんとして生れてこなければならなかったのです。そのお名前はイエス（救う者）、そして「インマヌエル」、ヘブル語で、「神様がわたしたちと共におられる」という意味です。何て素晴らしいお名前。イエス様はいつも永遠に共にいてくださいます。

いの祈り 天のお父様、聖なるお方として生れ、清い血を流して私を救い、よみがえって、いつもいつまでも共にいてくださる救い主を感謝します。

12月4日(金)

聖書

イザヤ11・1~5

聖句

エッサイの株から一つの芽が出、その枝から一つの若枝が生えて実を結び、その上に主の霊がとどまる。1~2節

「エッサイ」ってだれでしたっけ？そう、ダビデ王様のお父さんでした。つまりダビデの子孫として、一つの芽として、一つの若枝として、救い主イエス様が誕生するとの預言です。そのお方の上には、主の霊が豊かにとどまります。「知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊」です。イエス様は「主（神様）を恐れることを樂しみとし」ました。私たちは？神様を恐れ敬いつつ生きることが心の樂しみと喜びとなりますように。

いの祈り 天のお父様、イザヤの預言を感謝します。救い主イエス様のことが、ますますよくわかってきました。

12月6日(日)

聖書

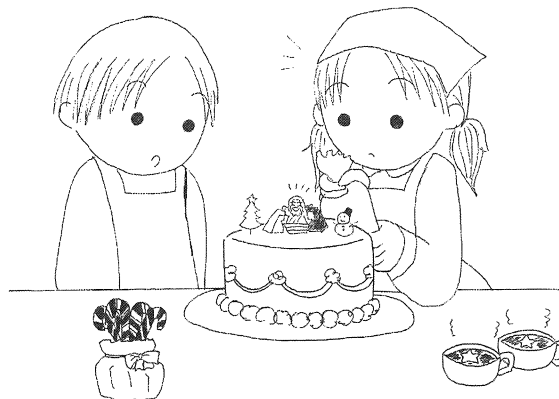
ルカ 2・1～7

聖句

マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。
6～7節

預言された救い主がついに世に誕生しました。一体何人の人たちに大歓迎してもらって誕生したのかしら？ 実は、たったの二人です。えっ？ そうなの？ と思ってしまう。そう、ヨセフとマリヤの二人。あとは家畜たち！ しかも寝かせたベッドは家畜がごはんを食べる飼葉おけでした。布にくるまれて、イエス様は家畜小屋の飼葉おけに寝かせられたのでした。驚きですね。神様の深いみ心、お考えがありました。主はとても貧しく生れてくださいました。

いのちの祈り 天のお父様、普通ではとても考えられないようなイエス様のお誕生を通して、大切なことを教えていただきたいです。



聖書

ルカ 2・1～7

タイトル

救い主誕生

暗唱聖句

マリヤは月が満ちて、初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。
ルカ 2・6～7

目標

救い主の誕生の驚くべき姿に学ぶ。

12月8日(火)

聖書

ルカ 2・6～7

聖句

客間には彼らのいる余地がなかったからである。
7節

あなたほどで生れたのでしょ？ 日本。東京。たしかに。そして、病院の気持ちのよいベッドに寝かせられたでしょう。中には未熟児で、保育器の中にならなくてはお友だちもいるかもしれないですね。ところが、世界の救い主は、ちゃんとした客間が大入り満員で入らせてもらえなかったのです。全然、だからも歓迎されないみたいないイエス様のお誕生だったのだと考えてしまいます。固い冷たい暗い暗い飼葉おけは実はわたしたちの心のようですね。

いのちの祈り 天のお父様、救い主イエス様の誕生の様子は、わたしたち人間の罪深い性質をはっきり教えてくれているようです。

12月7日(月)

聖書

ルカ 2・1～5

聖句

ヨセフもダビデの家系であり、またその血統であったので、ガリラヤの町ナザレを出て、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。
4節

「全世界の人口調査」の命令！ 「わあ、大変だ、自分の町へ帰らなきやならないぞ」と、人々は大ききざったことでした。皇帝の命令だから、ちゃんとそのとおりしなければなりません。ヨセフもはや大分お腹の大きくなっていたマリヤをつれてガリラヤの町ナザレから出発でした。ダビデの家系、その血統だったので、ユダヤのダビデの町と呼ばれる『ベツレヘム』へ。そこで救い主が生れ、ミカの預言のとおりになりました。

いのちの祈り 天のお父様、本当にあなたの預言にはまちがいがありません。あなたのみ言葉のとおりになると固く信じます。

12月10日(木)

聖書

Ⅱコリント 8・9

聖句

主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。 9節

イエス様の恵みを味わいましょう。イエス様は富んでおられました。天の父なる神様のみそばで、まばゆいばかりの栄光に輝いて、あふれる愛の交わりの中に満ち足りておられたのです。そのイエス様が、わたしたちのために貧しくなつてくださいました。天の栄光を捨てて、わたしたちの住む、暗く、汚れた、愛のひとかけらもないような冷たい世にきてくださいました。それは、わたしたちがイエス様の愛と恵みを受けて、主の貧しさによって富むためなのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の貧しさを心から感謝し、イエス様の恵みと愛とに満たされて富む者になれますように。

12月9日(水)

聖書

ヨハネ 1・14~18

聖句

そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。 14節

じゃんけんして勝ったら、ごきぶりが魚になり、また魚同士でじゃんけんして勝ったら鳥になる。鳥同士でじゃんけんして勝ったら「人間」となってアガリ！途中で負けたら、いつでもごきぶりに帰るなんてゲームしたことがあるでしょう。神様のひとり子イエス様が栄光の天のみ位を捨てて、地上にこれ、わたしたちと同じ卑しい弱い肉体をとって人となつてくださったことそのものが、人間がごきぶりになる以上の、考えられないようなへりくだりでした。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様が、わたしたちと同じ肉体を持つ人となられた、極限のへりくだりを感謝します。

12月12日(土)

聖書

ピリピ 2・1~11

聖句

キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。 5節

なぜ、世の救い主がそんなに、卑しく、低く、貧しくお生れくださったのでしょうか。人の世界に本当の愛と平和と一致と喜びが満ちるようになるためです。暗く、汚れた、冷たい世の中が、明るく、清く、温かい愛の世界になるためです。神様の形に造られた人と人同士がゆるし合い、愛し合い、助け合い、お互いの欠けたところをカバーし合つていくためです。そこに神様の祝福が注がれ、栄光があらわされてくるのです。「イエス様、ありがとう」ですね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様といわれる救い主なるお方こそが、本当にすべての鍵であることがわかりました。

12月11日(金)

聖書

ピリピ 2・6~8

聖句

かえって、おのれをむなしくして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。 7節

プライドって知ってる？「誇り」という言葉の英語です。それって本当にもうひとつの「ほこり」のようなもの、「ちり」のようなものです。わたしの生れはすこいよ、わたしの学歴もなかなかよ、わたしはいろんな賞状をもらってるよ。わたしは男だ、わたしは女だって、いっぱいプライドの材料があります。イエス様は、「わたしは神様だ」って言う、そのプライドさえもしがみつかれないで!!人となつてくださり、しかも人に仕えぬくしもの生き方を示してくださいました。

いのちの祈り 天のお父様、何という驚くべきイエス様の心のお姿でしょう。イエス様のそのお姿の前には一言も出てきません。

12月13日(日)

聖書

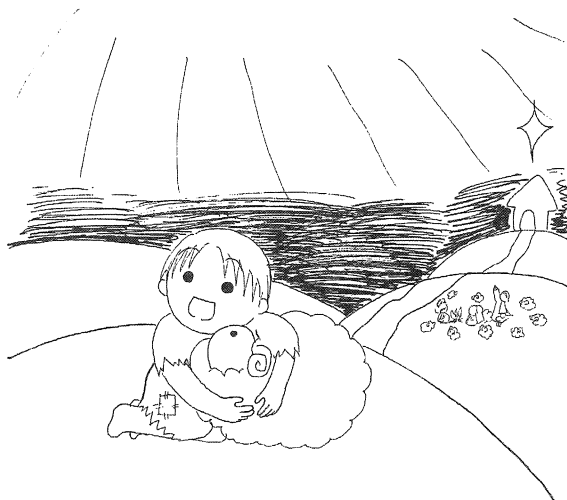
ルカ 2・8～20

聖句

いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。 14節

「ああ、わたしもそこにいたかったなあ」とだれもが思う、天の御使いたちの賛美は美しく迫力があつたでしょうね。これが神様のみ心そのものです。いと低く貧しく生れてくださった救い主イエス様、実はその謙遜こそが、神様の栄光となるのです。地上の軍隊は戦争のために出て行きますが、天の軍勢は、このように平和を告げしらせるのです。「平和の君がお生れになりました。この方によって、神様との平和も、人々との平和も与えられます」と歌っています。

いのちの祈り 天のお父様、人とのよいお交わりのために、まずは、わたしがあなたと仲直りさせていただいてこのメッセージを伝えたいです。



聖書

ルカ 2・8～20

タイトル

クリスマスのさんび

暗唱聖句

いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように。 ルカ 2・14

目標

クリスマスの賛美をとおり、神様ののみ心を知ろう。

12月15日(火)

聖書

ルカ 2・8～12

聖句

御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたに伝える」。 10節

「ま、まがしいー!」主の栄光の輝きが彼らをめぐり照らしたので、羊飼いたちは心臓が飛び出すかと思うくらいびびり、恐ろしくてガタガタふるえました。「こわがることはありません」と御使は言って、またまたびびりするようなことを語ります。「すべての民に与えられる大きな喜びをあなたがたに伝えます」と。すべての民です。羊飼いたちだけではありません。世界のすべての民に与えられる大きな喜びです。羊飼いたちは目を見開き、耳をそばだててでしょう。

いのちの祈り 天のお父様、救い主の誕生のニュースは、この時からずっと、すべての民のための大きな喜びの知らせです。

12月14日(月)

聖書

ルカ 2・8～12

聖句

さて、この地方で羊飼いたちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた。 8節

救い主誕生の史上最大ビッグニュースです。神様は一体だれに一番に伝えたのでしょうか? ベツレヘムの近くの野原で、夜野宿しながら、羊の群れの番をしていた羊飼いたちでした! 意外や意外!? 律法が守れないからと社会からのけものにされていた貧しい人々でした。しかし、神様はすべてご存知です。心優しい信仰深い、日々の働きを忠実にしていた羊飼いたちを選んで、一番先に伝えました。さあ、忠実になんでもしましょう。あなたにも声がかかるかも!?

いのちの祈り 天のお父様、神様の心みがわかってきました。まず貧しくても忠実に毎日なすべきことをしていけますように。

12月17日(木)

聖書

ルカ 2・8～12

聖句

あなたがたは、幼な子が布にくるま
て飼葉おけの中に寝かしてあるのを見
るであろう。 12節

『ダビデの町だ、そう遠くはないぞ。一体
どんな所に、どんな風にお生れなのか、し
るは何だろう』と考える羊飼いたちに、
御使いの言葉がひびきました。「幼な子が布
にくるまて飼葉おけの中に寝かしてある、
それがしるしです」と。『飼葉おけというな
ら、家畜小屋だな』と考えていると、みる
みる、空いっぱいにながしいばかりの天の軍勢！
御使いと一緒になって神様をさんびしました。
今だからどんな人も見たことも聞いたこと
もない賛美でした。

いの祈り
天のお父様、羊飼いたちは救い主をさがすし
るしも教えてもらいました。今、救い主のしるし
は十字架です。

12月16日(水)

聖書

ルカ 2・8～12

聖句

きょうダビデの町に、あなたがたのため
に救主がお生れになった。このかた
こそ主なるキリストである。 11節

羊飼いたちの耳に、心に飛びこんできた
大きな喜びのメッセーじです。「きょうダビ
デの町に、あなたがたのために救主がお生
れになった」—羊飼いたちは心の中でリ
ート（くり返し）したことでしょう。「きよ
うダビデの町に、あなたがたのために救主
がお生れになった」—『救い主だと、われ
われのための待ちに待っていた救い主だ！』
「このかたこそ主なるキリストである」—『主
なるキリスト、この方が救い主としてお生れ
くださった！ハレルヤ！』

いの祈り
天のお父様、御使いの言葉に耳を傾ける羊飼
いたちの心の喜びと興奮が伝わってくるようです。
本当にハレルヤです。

12月19日(土)

聖書

ルカ 2・17～20

聖句

彼らに会った上で、この子について自分
たちに告げ知らされた事を、人々に伝
えた。 17節

ニュースの英語はNEWS、つまりN（北）
やE（東）やW（西）やS（南）からの
情報と共に、またそれを、東西南北へ伝える
のですね。羊飼いたちは伝えないではいられ
ませんでした。何と言ったって、すべての民に
与えられる大きな喜びの知らせ、救い主誕生
のニュースなのですから！しかも御使いから
ナマで聞いたとおりだったのですから！人々
は不思議がり、マリヤは心に留めました。羊
飼いたちは人々に伝え、神様を心からあが
め賛美しつつ帰りました。

いの祈り
天のお父様、イエス様の素晴らしいことを聞
くと、わたしもだまっています。みんなに伝
えています。

12月18日(金)

聖書

ルカ 2・15～16

聖句

さあ、ベツレヘムへ行って、主がお知
らせ下さったその出来事を見てこよう
ではないか。 15節

目がくらくらするような豪華けんらんの
御使いショーが終り、御使いたちが天に帰っ
てしまった時、羊飼いたちは、「さあ、ベツ
レヘムへ行って見てこようではないか」とお互
いに顔を見合わせながら語り合いました。
彼らは単純、純粹でしたね！神様が一番
に彼らにニュースを知らせたのは正解でした。
だれ一人、「ちよつと待てよ」と引き止めな
かったのです。みんな急いで行きました。「あ
あ、やっぱり」、しるしのとりの幼子を探
しあてることができました。

いの祈り
天のお父様、あなたからのどんなお言葉も、疑
ったりしないで、そのまま単純に信じ受け入れ従
わせてください。

12月20日(日)

せいしよ
聖書

マタイ 2・1～12

せいこく
聖句

家にはいつて、母マリヤのそばにいる幼
な子に会い、ひれ伏して拝み、また、
宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬な
どの贈り物をささげた。 11節

今日はクリスマス礼拝の日です。まこと
の王として、わたしたちもひれ伏して救
い主を礼拝しましょう。東方の博士たち
は星を見つけて、ユダヤ人の王の誕生だと
知り、はるばるたずねてきました。一年
以上もかかってやっと、救い主の前に導か
れました。幼子イエスを王様として拝
み、大切に持ってきた宝の箱をあけ、王様
にふさわしい黄金や乳香・没薬などをお
献げしました。わたしたちもまずはこの
心を、そしてすべてをささげましょう。

いのちの祈り
天のお父様、まことの王なるイエス様をありが
とうございます。心より礼拝し、わたしのすべて
をおささげします。



せいしよ
聖書

マタイ 2・1～12

タイトル

まことの王

あんしよせいこく
暗唱聖句

家にはいつて、母マリヤのそばに
いる幼な子に会い、ひれ伏して拝
み、また、宝の箱をあけて、黄金・
乳香・没薬などの贈り物をささげ
た。 マタイ 2・11

もく
目標

まことの王であるイエス様の前に
ひざまづき、すべてをおささげしよう。

12月22日(火)

せいしよ
聖書

マタイ 2・4～8

せいこく
聖句

行つて、その幼な子のことを詳しく調
べ、見つかったらわたしに知らせてく
れ。わたしも拝みに行くから。 8節

王様はさっそく祭司長や律法学者たちに
問いました。『キリストはどこに生れた
のか』。『ユダヤのベツレヘムです』と彼らは
ミカの預言で言っていました。ヘロデはこ
ろ博士たちを呼んで、星が現れた時のこと
などを詳しく聞いて、「幼な子を見つけたら、
知らせしてくれ。わたしも拝みに行く」と言
います。しかし、それはみせかけでした。何
千キロもかけて求めてきた博士たちと、た
った8キロくらいなのに拝みにいこうとしない
ヘロデと民の差！

いのちの祈り
天のお父様、この時のように、今もイエス様に
向かう人々は二つに分かれます。真心から主を求
めたいです。

12月21日(月)

せいしよ
聖書

マタイ 2・1～3

せいこく
聖句

ユダヤ人の王としてお生れになったか
たは、どこにおられますか。 2節

王のお生れだからと、東方の博士たちは、
エルサレムにある王様の宮殿にたずねて行きま
した。「ユダヤ人の王としてお生れになったかた
は、どこにおられますか。わたしたちは東の方
でその星を見たので、そのかたを拝みにきまし
た。ヘロデ王の心は動揺しました。不安でいっ
ぱいになりました。このワシ以外に王が生れ
たとウ・エルサレムの人々も同じく不安でした。
まことの王様を喜びたずね求める人々と不安
を覚える人々。わたしはどちらかな？

いのちの祈り
天のお父様、一年以上もかかってまことの王
イエス様を求めた博士たちのように、もっと主を求
めさせてください。

12月24日(木)

聖書

聖句

マタイ 2・11～12

夢でヘロデのところへ帰るなどのみ告
げを受けたので、他の道をとって自分
の国へ帰って行った。 12節

母マリヤのそばにいる幼な子を見て博士た
ちは感激で胸がいっぱいになったことでしょう。
そうして、深々とひざまずき、礼拝し、宝
をお献げしました。神様は、今度は夢で博士
たちを導かれました。「あのヘロデのところへ
は帰らなくてよい、帰らないように」とのみ
告げました。そこで博士たちは他の道を通つ
て自分の国へ帰って行きました。救い主とお
出会いますと、生き方が変わります。あな
たはもうハッキリとまことの王なるイエス様
とお会いしましたか？

いのちの祈り
天のお父様、私も本当に救い主イエス様とお会
いしたいです。ひれ伏して礼拝をし、すべてをお
献げしたいです。

12月23日(水)

聖書

聖句

マタイ 2・9～10

彼らはその星を見て、非常に喜びにあ
ふれた。 10節

東方の博士たちを、遠いメソポタミアの地から
ずっと、ずっと、ずっと導いてくれた星が、宮殿
から出ようとすると、また現れるではありません
んか。そして、先に先にと進んで導いてくれます。
博士たちはとてもうれしくてたまりません。「あ
あ、この旅は成功だったぞ」と思ったでしょう。
非常に喜びにあふれた博士たちは、ついに一つ
の家にたどり着きました。星がその上にとどま
ったのです！今、私たちにとって、この星は聖書
なのです。

いのちの祈り
天のお父様、博士たちが星に導かれて救い主に
お会いしたように、今はみ言葉により主にお会い
でき感謝します。

12月26日(土)

聖書

聖句

ヨハネ黙示録 19・11～16

その着物にも、そのものにも、「王の王、
主の主」という名がしるされていた。 16節

イエス様が再び来られたら、もうその時
には、このような地上でのクリスマスはなく
なりますね。神様がひとりも滅びないよう
にと長く忍耐して、イエス様のおいでをのば
していただくのです。黙示録には、イエ
ス様が二度目に来られる時にはどんなこと
が起るのか、神様がやがて与えてくださる
新天新地、神の国はどういう所なのか、記
されています。その中で白い馬に乗られたイ
エス様の着物やもにも、「王の王、主の主」
という名が記されているとあります。

いのちの祈り
天のお父様、まことの王としてお生れくださっ
たイエス様は、永遠に「まことの王」として治め
てくださり、感謝です。

12月25日(金)

聖書

聖句

ヨハネ 3・16～21

神はそのひとり子を賜わったほどに、
この世を愛して下さった。それは御子
を信じる者がひとりも滅びないで、永遠
の命を得るためである。 16節

メリー・クリスマス！主の年二〇〇九
年のクリスマス、心よりおめでとうござ
います！どんなプレゼントをもらいまし
たか？神様からの最高最大のプレゼント
は、神のひとり子、救い主イエス・キリス
トです。もうこのお方を心の中にお迎え
しましたか？それこそが本当のクリスマ
スです。そして今日から始まるクリスチ
ヤンの新しい年、毎日がクリスマスです。
永遠の命、神様のきよい命を内にもつて、
しっかりと歩みましょう。

いのちの祈り
天のお父様、今年もクリスマスをお祝いでき
てありがとうございます。本当のクリスマスを保
ていきます。

12月27日(日)

聖書

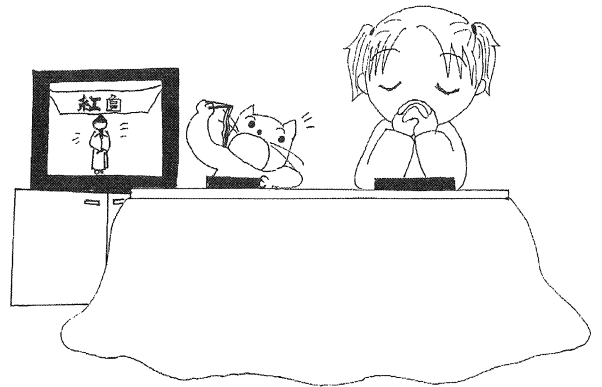
I テサロニケ 5・12~22

聖句

すべての事について、感謝しなさい。
18節

今日は今年最後の日曜日、年末感謝の礼拝です。私たちはよくしてくれる人々に「ありがとう」と感謝の思いをあらわします。人々の好意や、感謝する一つひとつのことが、実は神様からのものですから、まずは一番に神様に感謝するべきですね。「すべての事について」感謝できるでしょうか？すべてがよいことばかりではありませんからね。でも神様に向かって感謝を始めると、驚くべきことに、それができるのですから不思議ですよ。やってみてください。

祈り 天のお父様、すべての事について感謝することをあなたが求めておられますので、そうさせてくださると信じます。



聖書

I テサロニケ 5・12~22

タイトル

感謝！

暗唱聖句

すべての事について、感謝しなさい。
I テサロニケ 5・18

目録

一年の感謝を思い切りささげよう。

12月29日(火)

聖書

I テサロニケ 5・17

聖句

絶えず祈りなさい。
17節

今週のみ言葉の鍵はこれですね！「絶えず祈る」こと。「やめることなく祈りなさい」と英語にはあります。えーっ、そんな、お祈りばかりしていたら、「ごはんも食べなきゃ、学校へも行かなきゃ、宿題もしなきゃ、クラブもあるし、塾にも行くし、お祈り以外のことが何もできなくなるよ、と思うかな？もちろん、それらをするのですが、お祈りして始めて、祈り心でやって、感謝のお祈りで終るのです。そして、純粋にお祈りの時間ももてたらサイコー！

祈り 天のお父様、あなたは私たちの祈りを待っていてくださり、すべてを祝福してくださろうとしていてくださり、感謝しています。

12月28日(月)

聖書

I テサロニケ 5・16

聖句

いつも喜んでいなさい。
16節

「いつも喜んで」いるなんて、とてもできないですよ、と言いたくなりますか？だって、悲しい時もあるし、つらくて泣くこともあるし、苦しい時もあるれば、困ってどうしようと思う時、それに恐い時や、心が不安でいっぱいの時だってあるじゃない？叫びたくなる時やイライラする時や怒りが爆発しそうな時もあるし…。本当に、人間は感情をもつてからね。でもこれは、「キリスト・イエスにあって」できることなのです。イエス様を喜ぶのです。

祈り 天のお父様、どんな時も、イエス様がどんなにか私を愛してくださるかを思う時、喜べるので感謝です。

12月31日(木)

聖書

詩篇136・10～15

聖句

強い手と伸ばした腕とをもって、これを救い出された者に感謝せよ。そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。 12節

いよいよ今年最後の一日となりました。イスラエルの民にとって、あの厳しいエジプトでの奴隷生活からの完全な救いのみわざは、いづつまでも記念し、子々孫々に語り継げる大いなる神のいつくしみのみわざでした。私たちにとっては、イエス様の十字架による古い罪の生活と性質と、永遠の滅びからの救いです。「あのこと」「このこと」の前に、やはり救いの恵みを感謝したいですね。今年救われて洗礼を受けたお友だちは、大いに神様に感謝しましょう。

いのちの祈り

天のお父様、人にとって一番大切な罪と死の解決をしてくださる十字架を感謝します。救い主をほめたたえます！

12月30日(水)

聖書

詩篇136・1～4

聖句

ただひとり大いなるくすしきみわざをなされる者に感謝せよ、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。 4節

今年も今日と明日になりました。この一年をちよつといつもよりゆつくりと振り返ってみましょう。この二日間、昔イスラエルの民が、よく交読した136篇を味わいます。リーダーが前半を言う、民のみんなは後半を声を合わせて言いました。つまり民は、「そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」をしつこく繰り返しました。ものが言えはじめた幼児でも覚えて言えそうですね！みんなの心はきつと大いなるくすしきみわざをなされる方への感謝にあふれたことでしょう。

いのちの祈り

天のお父様、この一年を心よりありがとうございます。あなたの偉大なくすしいみわざを感謝いたします。

1月2日(土)

聖書

詩篇138・6～8

聖句

主はわたしのために、みこころをなしとげられる。主よ、あなたのいつくしみはとこしえに絶えることはありません。 8節

全知全能全愛の神様が、小さな「わたし」のためにご計画をもっていてくださって、そのみこころをなしとげてくださるなんて、感激でしょう！神様のいつくしみ、つまり永遠の愛はいつもいつまでも絶えることなく、今日も明日も、私のためにみこころをなしとげていてくださいます。だから、毎日み言葉を讀み、お祈りして神様と歩み続けるのです。さあ、明日は今年最初の日曜日！この一年も日曜日は教会へ行き、神様第一の生活をしよう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたが私のためのみこころをなしとげてくださることを知って感謝します。明日から毎週 教会へ行けますように。

1月1日(金)

聖書

詩篇138・1～5

聖句

あなたはわたしが呼ばわった日にわたしに答え、わが魂の力を増し加えられました。 3節

主の年二〇二〇年、あけましておめでとうございます！二〇〇〇年でさいわいだと思つたら、もう10年たちます。時のたつのは早いですね。この新しい一年もイエス様と共に歩んで、祝福に満ちた素晴らしい一年にしたいです。何より、私たちが呼ばれる時、つまり、お祈りする時、答えてくださる神様がおられることが感謝ですね！答えてくださって魂の力を増し加えてくださいます。外側より内側です。魂の力が大切です。祈りの一年にしましょう。

いのちの祈り

天のお父様、あなたが与えてくださる新しい一年をありがとうございます。あなたに喜ばれる一年にしてください。